

【平成17年度専修学校教育重点支援プラン】

事業名	「自己発見/自己ブランディング・プログラムの開発、検証」		
学校法人名	学校法人 小山学園		
学校名	東京工科専門学校		
代表者	理事長 山本 眞	担当者・連絡先	校長 芦田 宏直 電話 03-3360-8885
<p><事業の概要></p> <p>専門学校生が、自らの持ち味やこだわり・興味などを手がかりに、自分らしさや強み・個性を再発見することにより、スキル/技能修得の意味やキャリア形成に向けた自信と自己イメージを獲得すると共に、企業や社会からの認知・信頼・価値評価につながる積極的な自己表現/情報発信と自己ブランディングの方法を身につけるための研修プログラム開発と実証研修の実施。</p> <p><成果></p> <p>■教員/企業/学生へのヒアリング調査</p> <p>専門学校において学生に対しての就職指導教育の実態、企業側の採用指針や採用したい人材像の把握、学生の思考や興味そして自己をどのくらい正確にとらえているかを把握するためにヒアリング調査を実施した。</p> <p>この調査の結果から、</p> <p>①教員は、就職指導教育に満足していない、その理由として学生個々のポテンシャルを引き出す教材がなく、教員が個別対応での指導に頼らざるを得ないために標準化ができない。</p> <p>②企業は、採用時に学生個々の本質を把握することに苦慮している。</p> <p>③学生は、自己の価値を見出すことが苦手である。</p> <p>ことが明らかになった。</p> <p>■自己発見/自己ブランディング・プログラムの開発内容について</p> <p>上記ヒアリング調査結果をもとに、下記の教材の開発に取り組んだ。</p> <p>①STEP 1 [自己分析・発見]－自分に光を当てる－</p> <p>②STEP 2 [社会的自己分析・発見]－自分を社会に立たせてみる－</p> <p>③STEP 3 [社会的自己分析・発見]－自分を社会に立たせてみる－</p> <p>④「自己発見・自己ブランディング」プログラムまとめシート 1-6</p> <p>【以上学生教材】</p> <p>⑤「自己発見・自己ブランディング」プログラム 指導の手引き</p> <p>【以上教員用手引書】</p> <p>⑥「自己発見・自己ブランディング」プログラム教材</p> <p>【CD-ROM版】</p> <p>開発実施にあたって方針は、すべての専門学校において活用できる教材とすることとし、就職指導授業に組み込むこと、学生教材をモジュール化することによって、時間的な運用</p>			

性を高め、またワーク形式を取ることによって教員負担の指導上の軽減をはかり、且つ学生の方では、考えていることを言葉にすることにより自己探求を深めること、またその自己探求をマーケットアピールとして自己ブランディングにまで高めることを可能にした。

また、教材の精度を向上させるためにプレ実証研修を実施して、問題点を抽出して修正を加えた。

■実証研修の実施

1/31、2/2、2/3、2/6日の4日間、開発した教材を、学生を対象に実証研修を開催して、実際の授業として検証を実施した。検証の内容は、教材の明確性・的確性や時間配分、学生への浸透性、授業手引書の有効性、そして自己ブランディングの文章完成度の如何とした。

結果、研修終了後の学生記述は82%の学生が、文章化が出来ていた。また学生アンケートでは、「一つ一つキーワードを出すことで整理できた。とても役立つプログラムだと思う」、「自分が何をやりたいのかが、わかるようになりました」など好評だった。また、指導した教員からも「学生に個別に指導しなくても、学生が自己探求に基づいた文章が書けた」と評価を受けた。

■将来展望

本事業の目標である学生が自分の思考を言葉にすることや、抽象的な事象を考えることが苦手な学生に、自己分析・発見から、その社会的な位置関係を明確にして、自己を表現させることが可能なことは実証できたと言える。

今後の展開としては、当校において今回開発した教材を、就職対策授業の初期段階で取り上げその効果測定を行い、教材そのものの精度と手引書の改善につとめるものとする。

また、本教材を専門学校に広く提供し、実際に授業で使用しデータを数多く取り、学生の能力開発にさらなる効果的な働きかけがないかどうかを精査する必要がある。その結果を教材に反映させ、学生に記入させる仕掛けの細分化と、学生の抽象的な思考能力をさらに深めるような教員の助言を盛り込んだ手引書の開発が必要であると考えている。